

地方公共団体（大阪府）と連携した環境負荷低減の取組の「見える化」の推進

みどりの食料システム戦略に基づく、消費者の選択に資する環境負荷低減の取組の「見える化」を推進するため、地方公共団体（大阪府）と連携し、食品関係事業者（小売販売部門）に対して働きかけを実施。

○ 施策分類

みどりの食料システム戦略

○ きっかけ・背景、課題の把握

環境負荷低減の取組の「見える化」を推進するにあたり、大阪府拠点が単独で推進するより、独自で環境に配慮（脱炭素・CO2削減）する取組「大阪版カーボンフットプリント」を推進している大阪府と連携することが効果的であると考えた。

○ 取組の内容

- ①大阪府環境農林水産部 脱炭素・エネルギー政策課と意見交換を実施し、大阪府拠点と連携可能なところは連携して推進していくこととした。
- ②大阪府内に本社のある百貨店等（3か所）及び全農大阪に対して、「みえるらべる」と「大阪版カーボンフットプリント」の違い等を説明し、食品関係事業者に取組への理解を求めた。

○ 効果・成果、今後の方向性

- ①働きかけをきっかけに、（株）京阪百貨店から令和7年5月下旬開催予定の消費者イベント（食育フェスタ）への参加依頼（みどりの食料システム戦略のPR）があり、現在、取組内容を調整中。
- ②今後、説明会を実施する場合は大阪府と連携し、生産者や食品関係事業者がより取り組みやすいよう工夫し、普及を推進する。



「みえるらべる」



「大阪版カーボンフットプリント」



「大阪府内の小売店における「見える化」の事例」

体制図

大阪府拠点



連携

大阪府
脱炭素・エネルギー政策課

・説明会
・情報共有 等